

# 管理職には配慮必要

## 働き方改革で山口氏講演

埼玉版 ウーマノミクス  
**女性活躍推進**

少子高齢化社会の中で求められる「女性活躍」をテーマにした働き方改革講座が24日、さいたま市内で開かれ、育休後コンサルタント®の山口理栄氏が「フライフィベントとの両立を可能にする女性活躍推進のあり方」について講演した。県が推進する埼玉版ウーマノミクスプロジェクトの一環で、全3回の最終回。



山口氏は、育児中の社員で

育児休業から復帰した部下との面談を疑似体験する参加者と、講師の山口理栄氏（後列）＝24日、さいたま市大宮区

も保育時間や家族の支援などにより勤務時間・休暇頻度が違ってくることを管理職が理解すべきと強調。短時間勤務については、職場での働き方改革や適切な目標設定・仕事配分、長期的なキャリア開発の視点に立ったマネジメントが求められているとした。時短勤務を理由に部下の評価を下げては仕事の改善にならない。管理職には能力を期待した仕事の割り当てなど適切な配慮がほしい」と語った。

また「まめなコミュニケーションや仕事の成果を期待してくれる上司だと頑張れる」と、働き方改革に積極的なイクボスになることを促した。

育児休業から復職する部下との面談を疑似体験するロールプレイングを実施。さいたま市浦和区の葬祭業の男性（31）は「実際に言葉で言うてみるのが勉強になった。上司の考え方を変えていくことから始めないといけないと痛切に感じた」と話していた。

（高橋功）